

藤枝市議会

題字：西益津中学校 3年2組 土井 貫太郎さん



「実りの秋」(撮影場所：市内青南町)
小長谷 充朗さん

Vol.
228
ふじえだ市議会だより

決算常任委員会

9月の定例月議会では、15日、19日、20日、21日の4日間で決算常任委員会を開催し、令和4年度一般会計歳入歳出決算及び病院事業会計決算を審査しました。
ここでは主な質疑の内容をお知らせします。

認第1号

「令和4年度藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について」



市長へ令和4年度決算の「事業評価書」を提出し、市長から来年度の施策に反映していきたいとの前向きな回答がありました。同時に、3常任委員会から「提言書」の提出も行いました。



事業評価書

問 博物館入館料等、文学館入館料等の歳入について、令和3年度と比較して金額が大幅に伸びている理由を伺う。

答 令和4年度からコロナの影響も令和3年度と比較すると軽減されたこと、また、文学館の絵本展は子供を対象に親子で楽しんでいただく企画展を心がけ、それが大ヒットしたこと、さらに、博物館の歴史展も町田市にある美術館から貴重な資料を借用することができ、質の高い展示ができたこと、などの理由により、全国から多くの来館者があり入館料を増やすことができた。

問 感震ブレイカー等設置推進事業費について、昨年度と比較して件数が大幅に伸びており、成果が見られるがその理由を伺う。

答 50世帯以上が入る共同住宅に設置してもらうことができたこと、また、簡易タイプの安価なものを助成の対象としたことで設置する方の自己負担額が減ったことなどが要因と考えている。

問 高齢者補聴器購入助成費の評価を伺う。

答 令和4年度から開始した事業であり、件数的にもまだ周知等の余地はあるが、申請者のアンケートで、医療機関や販売店への浸透が見られているため、今後も周知等に努めたい。

問 藤枝市民大学の初年度としての評価を伺う。

答 定員を超える応募があったため、広い会場に場所を変更するとともに、サテライト会場を設け、講義を中継することにより、応募者全員に受講いただけた。アンケートでは、『とても実りがあった。引き続き学んでいきたい』との声も多数あり、今後も様々な学びができるよう、事業を続けていきたい。





問 女性創業支援事業費について、令和4年度の事業の成果を伺う。

答 各種セミナーや講座を68名の方に受講いただいた。
問 講座を受講し、起業された方の起業後の状況調査などを行っているか伺う。

答 起業後の経営状況や、困り事などについてフォローアップのためのヒアリングを行い、継続的な支援につなげている。



問 令和4年度に策定業務が行われた第4期の中心市街地活性化基本計画策定において、重視した点を伺う。

答 平成20年に第1回の認定を受け、これまで3期15年取り組んできた中で、第4期では、アフターコロナ、ポストコロナのにぎわい回復をまず第1点に策定をした。また、居住人口を増やすことも大きな目標の一つであることから、駅前一目9街区、6街区の再開発事業を中心に、ハード・ソフト合わせて59事業を計画に盛り込んだ。

認第7号

「令和4年度 藤枝市病院事業会計決算の認定について」



問 令和4年度途中から専用車両になったラピッドレスポンスカーの運用状況について伺う。

答 焼津市立総合病院、志太消防本部との3者協議において定期的に検証を行い、より機能的な運用になるよう取り組んでいるところである。救急科の専門医師も現在10名まで充実してきており、引き続き検証をしながらより良い運用に努めたい。



決算常任委員会のようす

問 近年導入している高額医療機器が病院にもたらした影響について伺う。

答 まず1点は人材確保の点で、最先端の医療に触れて技術を身につけたいという意欲のある若手の医師の確保につながる点、もう1点は様々な時間が短縮されることで件数に貢献するほか、被ばく量の減少など患者にもメリットがある。

9月定例月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案

議案番号	議 案 名
認第1号	令和4年度藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について
認第2号	令和4年度藤枝市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第3号	令和4年度藤枝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
認第4号	令和4年度藤枝市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認第5号	令和4年度藤枝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認第6号	令和4年度藤枝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認第7号	令和4年度藤枝市病院事業会計決算の認定について
認第8号	令和4年度藤枝市水道事業会計決算の認定について
認第9号	令和4年度藤枝市下水道事業会計決算の認定について
第61号	令和5年度藤枝市一般会計補正予算（第4号）
第62号	令和5年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
第63号	令和5年度藤枝市土地取得特別会計補正予算（第1号）
第64号	令和5年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第1号）
第65号	令和5年度藤枝市病院事業会計補正予算（第1号）
第66号	字の区域の変更について
第67号	市有財産の取得について（議場音響システム）
第68号	建設工事請負契約の締結について（（仮称）新岡部みわ保育園建築工事）
第69号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第70号	農業委員会委員の任命について
第71号	教育委員会委員の任命について
発議案第8号	脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書

可決された議員発議

議員提案による発議案（意見書1件）が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。
詳細はQRコードからご覧ください。

発議案第8号 脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書

「概略」

循環型経済関連ビジネスを新たな成長産業として位置づけ、脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の実現を目指した特段の取組を求めるものです。



人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意しました。

◆第69号議案

固定資産評価審査委員会委員

増田 和宏さん（駅前一）

◆第70号議案

農業委員会委員

杉村 金光さん（寺島）

◆第71号議案

教育委員会委員

福與 繁太郎さん（大洲五）

常任委員会審査レポート

ピックアップ！

総務委員会

第61号議案

令和5年度藤枝市一般会計補正予算(第4号)

本会議
可決

- ・せとや陶芸村宿泊・滞在拠点整備事業費 5,000万円
- ・旧東海道日本遺産・茶文化発信拠点整備事業費 5,000万円



民間事業者が行う施設整備に対して補助を行うもの。両事業とも5,000万円の補助のうち半分の2,500万円は国の交付金を活用。せとや陶芸村宿泊・滞在拠点整備事業については宿泊施設の増加が陶芸村構想の方針と、旧東海道日本遺産・茶文化発信拠点整備事業については茶文化発信や市内への誘客が市の目的と合致していることを確認したため、委員会としても可決すべきものと決定しました。

健康福祉教育委員会

第68号議案

建設工事請負契約の締結について

(（仮称）新岡部みわ保育園建築工事) 3億3,220万円

本会議
可決

現在の岡部みわ保育園の老朽化や水害対策等のため、新しい園舎を建設する契約です。新しい園舎は、発達支援の強化や食育・体づくりの推進に力を入れた整備が行われるとともに、災害時に利活用ができ、水害にも対応した施設となる予定です。安全な保育を継続するために必要と判断し、委員会としても可決すべきものと決定しました。



建設経済環境委員会

第61号議案

令和5年度藤枝市一般会計補正予算(第4号)

～生活応援キャッシュレス還元事業費 2億円～

本会議
可決



市民生活への物価高騰の影響を緩和し、市内経済の回復を図るため、キャッシュレス決済を活用した消費喚起対策を行うもの。多数の方が利用できるよう、地区交流センターのデジタル支援員による支援を行っていくことなどを確認し、委員会としても可決すべきものと決定しました。



藤新会
山 川 智己 議員



鳥害を防止する条例の制定について

問 餌やりによる鳥害防止条例の制定について伺う。

答 鳥害は環境面・景観面から大変重要な課題であり、条例による実効性の確保が有効である。そこで、良好な生活環境の確保を目的とする『藤枝市まちをきれいにする条例』を改正していく。具体的には、野鳥への餌やりによる迷惑行為を市内全域で禁止する内容を盛り込み、市独自の立入調査権等を中心に、違反者への清掃指導や勧告、罰則を追加規定し、糞害防止に早急に対応できるようにする。

今後の予定としては、ただちに市民へのパブリックコメントを実施し、それに基づく条例の改正案を11月定例会に提出、来年4月の条例施行を目指していく。

指定避難所の安全確保について

問 屋外が指定されている避難所の、屋内への指定の見直しについて伺う。

答 屋外のみが指定されている避難所すべてにおいて、屋内施設の活用を速やかに進めていく。原地区の指定避難所である大谷川公園については、現在行われている茶町大谷線整備事業の完了を見据え、藤枝中央小学校の避難所指定の手続きに取り組んでいきたい。

岡上山・益津地区の指定避難所である市民会館駐車場については、指定管理者と本年4月に交わされた基本協定の中で、本施設を避難所等として開放する旨の一文が加えられており、指定に向けての取り組みを進めている。



日本共産党
石 井 通春 議員



河川の草刈りは行政の責任で

問 昨年9月議会でも取り上げたが、行政が管理する河川の草刈りは、行政が主となって行うべきである。酷暑での重労働、出不足料徴収の事実上の強制など、市民の不満は強い。

答 草刈りは管理者である市の責務。本年度導入した草刈り機の台数増、自治会代表と市及び県を含めた協議会においてより良い仕組みを検討する。

市のマイナカード推進策の転換を

問 情報漏洩や強引な紙の保険証廃止など、国民の不信は強い。市も国と連携しカード普及を促進してきた。その理由は、「いつでもどこでも平等に負担がなくサービスを受けられる事を目指しており、マイナカードはそれを実現するための重要なツール。今後のデジタル社会において、市民の暮らしを豊かにしていくものであり、今後も国の政策と連動していく」というものである。今や、これで納得する市民がいるのか。

答 国は秋までの総点検を示し、7月において実施した実態調査では異常なかった。不安を払拭するのが重要と考える。

問 対象となる個人情報数十億、限られた期間で総点検は出来ない。デジタル庁自身も認めている。紙の保険証廃止や、戸籍にフリガナを付す作業など、これまで何も問題なかったのにマイナカードの為に市の職員は無駄な作業を強いられている。職員の立場からも政策の転換が必要。一時的に作業が増える事が想定されるが、適正に稼働すれば、効率化が進み負担軽減になる。



藤新会
小 林 和彦 議員



ふるさと納税について

問 本市のふるさと納税額に対する所見

答 令和元年度の地場産品ルールの厳格化により大幅に寄付額が減少したが、本市のポテンシャルを発揮し、寄附額を伸ばす余地は十分にあると考えている。

問 本市の返礼品の現状と今後の予定について伺う

答 ふるさと納税の返礼品は現在980品目であるが幅広いラインナップの充実を図り、特にジェラート、入浴剤、イチゴ、家具等が人気の上位を占めており、今後は全国で人気の高い新規の取扱いや既存商品の魅力向上を重点的に進めていく。

問 ふるさと納税を増額するための取組みを伺う

答 本年度からマーケティングやターゲット層の行動分析を取り入れた広告戦略に刷新し、ふるさと納税サイト内で情報が効果的に表示され、より多くの方を誘導する手法に転換しており、効果的に寄附拡大に結び付けていく。

問 ふるさと納税担当部署を設置する考えがあるか伺う

答 ふるさと納税業務は企画政策課が所管し、新規返礼品の開発については、産業振興部やスポーツ文化観光部と連携して実施している。今後体制のさらなる強化が必要になった場合には、専門の部署の設置も検討していく。



新たなステージで躍進する藤枝MYFCをふるさと納税で応援しよう！



藤のまち未来
川島美希子 議員



更なるインクルーシブ社会の実現に向けて

【障がいのある有無に関わらず多様性を認め合う社会】

問 特別に配慮の必要な子どもの現状と傾向

答 未就学児636人（15・1％）公立の通常学級在籍の小学校877人（12％）中学校402人（11・1％）特別支援学級小学校187人（2・5％）中学校84人（2・2％）全体として増加傾向にある。

問 課題のある園児保育に財政支援等拡大できるか

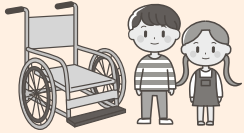
答 人材確保・育成など保育体制強化は喫緊の課題。早期改善のため職員の加配に係る本市独自の特別支援事業に対する補助金を来年度拡大する。

問 障がい特化した「ガゼルの森支援部」には入園待機児童がいる。支援ができることはあるか

答 ガゼルの森の「親子・並行通園事業」を来年度から市が実施する。地域の園で障がい児の保育できるように令和7年度から（仮称）新岡部みわ保育園の研修センターを拠点とした講座や、体験型実務研修など実施し発達支援のスキルアップを図っていく。

問 実現に向けた本市の考えは

答 社会全体の価値観やモノの見方が変わり人間関係も希薄となって、孤独感や孤立感を感じている若者や高齢者も増えていることも事実。大切なのは幼少期からの「心の教育」偏見や差別をなくし人権感覚を育む温かな教育の環境を作り、より良い生き方を追求できる社会づくりに取り組む。



藤新会
多田 晃 議員



サッカーのまち100周年記念事業と藤枝MYFCについて

問 サッカーミュージアム開設の進捗状況と展示内容について

答 100周年記念として特設ミュージアムを、文化の拠点である市民会館ロビー内に開設する方針。100周年終了後に蹴球都市のシンボルとなる常設のミュージアム開設を並行して進めていく。

展示内容については、100周年の歩みや長谷部選手をはじめとした本市出身のレジェンド選手に関するもの、藤枝東高校や藤枝順心高校などユース年代に関するもの、日本サッカー協会からの借用品などと併せてデジタル技術を活用し、見ごたえのあるものにしていく。

問 記念式典など周年事業の計画について

答 市制施行70周年事業と一体的に展開していく。記念式典は来年1/27に行う予定。全国自治体職員サッカー選手権の開催など実行委員会を検討しているものを具体化していく。

問 次の100年に向けたビジョンについて

答 文化資源また産業や観光資源として世界とつながり、国際的な交流が全市的に波及する蹴球都市ふじえだを目指していく。

問 藤枝MYFCのJ1ライセンス申請における対応について

答 J1に昇格後3年以内にスタジアム整備計画書を提出し、その後5年以内に完成させる8年の猶予を受けられる例外適用制度を活用し、整備を検討していく。



藤のまち未来
岡村 好男 議員



岡出山周辺の賑わいづくりについて

【藤枝旧市街地エリアに新たな人の流れの創出】

問 岡出山公園の今後の構想について伺う。

答 山頂広場においては、起伏のある山頂部分の平坦化を行い、志太平野を一望できる眺望をより楽しんでもらえるような環境整備を進める。また、忠霊塔については、園内の低地に新たに整備していく。

問 岡出山小路の整備目的と果たす役割、機能を伺う。

答 岡出山公園や旧東海道エリアに集積する神社仏閣へと誘導する「結節点」としての役割を担うとともに、コミュニティ空間を提供するために整備する。ふじえだ花回廊の新拠点としても考えている。

問 これらの整備を周辺のにぎわいにどうつなげるか伺う。

答 民間事業者と連携した回遊イベントなどを実施し、来訪者増加につなげることで、空き店舗を活用した出店や、空き家の利活用により、移住定住を促していく。

問 日本遺産構成文化財内への宿泊施設建設の具体的な内容を伺う。

答 大慶寺の境内の一角に宿坊を建設するものであり、観光庁の補助事業を活用し建設をする。木造2階建て、一日一組限定の宿泊施設であり、来年度中に完成する予定であると伺っている。



岡出山小路イメージ図



公明党
山本 信行 議員



洪水・水害対策等について

【多発する洪水・水害に備えて！】

問 常任委員会でも視察を行った兵庫県高砂市では被害軽減の明確な目標を掲げた総合治水推進計画を策定しています。志太地域流域治水協議会における今後の治水計画で、災害時の対策内容のほかに、具体的な目標を示す必要があると思いますが伺います。

答 「水災害対策プラン」において、県や各市が実施する具体的な対策内容と、効果、事業スケジュールを示していく予定です。

問 三井住友海上火災保険では、2021年から自治体向けサービスとして、水害時の保険金支払いのために調査した被災家屋の写真や被害状況を、罹災証明書発行の資料として無償提供する協定を45市町村と結びサービスを導入しています。導入を検討するべきと考えるが見解を伺います。

答 包括連携協定を結んでいる三井住友海上の水害支援サービスは、被災者への迅速な罹災証明書の発行に大いに寄与するものと考えます。

本サービスの導入に向け、災害時の相互の情報伝達方法などの調整が必要となり、関係部局と連携しながら検討を進めてまいります。



藤のまち未来
八木 勝 議員



こどもの創造性を藤枝市のまちづくりにどう活かすかについて

問 こども基本条例制定の進捗状況について伺う

答 市は庁内策定委員会を設置し、制定方針を決定しています。また、こども達が参画する会議や集まりも存在し、様々な分野でこども達の意見を聞き、反映していく。

問 こども達の意見を政策に反映させる際の方法やプロセスについて伺う。

答 市はアンケートやヒアリングのほか、ワークシヨップやSNSを活用してこども達の意見を収集し、自己肯定感や自己有用感を高めることを重視していく。

問 スポーツ分野で海外留学を希望する中高校生に対する支援策について伺う。

答 国や民間等の支援制度がある中で、市としてどんな支援ができるのかを検討していく。

問 こどもまんなか社会を実現・重視する一方で、学校現場や保育現場に関わる大人への保護施策について伺う。

答 市はスクールロイヤー制度や第三者委員などを通じて、大人たちへのサポートも行っている。



こどもの創造性



日本共産党
さとうまりこ 議員



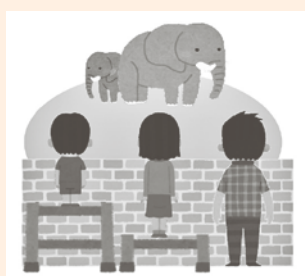
障害児が保育園に入れない
保育士不足の打開を

問 保育士不足で障害児が入園できない状況がある。児童福祉法では、保護者が必要とする時保育するのは市の責任と定められているが。

答 子ども、子育て支援事業計画を策定し、保育の受け皿の整備を進めている。各施設の体制についても予算の範囲内でできる限りの支援を行っている。

問 全ての子どもの権利を守るために、市独自で保育士の待遇改善を進めるなど思い切った予算対応で保育士を確保してほしい。

答 待遇改善は国の責任で全国一律で進めるべき。



「障害を見える化」全員に壁の向こうが見える支援が必要

道の駅構想の実効性は

問 道の駅（仮）せとやの運営は、どうなるか。これまで通り、（株）ふるさと瀬戸谷を指定するのか。

答 未定である。構想の規模にふさわしい運営主体とするため選定基準の検討を進めている。

問 道の駅（仮）かりやどに集客性・採算性はあるのか。

答 採算性を含めこれからも地域のみなさんと検討していく。



藤新会
神戸 好伸 議員



保育士の処遇改善策には

問 基本分単価の賃上げは

答 国は人事院勧告を反映し、基本分単価を見直し
てはいるが、他の職種に比べると乖離している
が、市が独自に変更することは、出来ない。

問 藤枝型独自加算は可能か？

答 各種補助金を保育施設等に交付し、支援してい
るがこの補助金を独自加算とし、使途別に加算
する給付費として支給することが効果的かどう
か、他の自治体の事例も踏まえ、研究していく。

問 保育士のキャリアアップ研修で処遇改善が！

答 県及び県が認定した団体が実施主体となる、本
市で実施中の「障害児保育分野」の研修に加え
今後は近隣市町と連携したキャリアアップ研修
の実施や、安全・安心な保育・環境づくりを推
進していく。

学校管理下（私会計）にある給食費は？

答 給食費は令和6年度から公会計化となる

現在の学校給食費会計制度を見直し、自治体予
算に組み込み、安定的な事業実施と併せ多様な納
付方法による保護者の利便性の向上や、未納者へ
の対応、公平性や透明性という点
から令和6年度から段階的に実施
していく。現在の給食費を学校管
理ではなく市の会計で取り扱う事
とし、次に徴収方法やシステムの
導入などを検討し、健全な学校給
食の運営を実現する。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



教員志願者減少の中における本市の取り組み

問 「教師塾」の近年の実績について伺う。

答 平均合格率は、県全体の合格率約26%に対し、
ふじえだ教師塾は65%以上の高い水準を維持し
ている。教師塾の具体的で協働的な演習や講座
の過程を通して、塾生一人ひとりが自身の教師
像を描き、教師への志を強く持ち続けることが
できたことによるものと考えている。

問 「教師塾」の今後の役目について伺う。

答 教員は、採用直後から学級経営や教科の指導を
様々なサポートを受けながらも、基本的には一
人で子どもたちに向かい合う。したがって資質
や能力を備えることは勿論、教員としての自覚
と覚悟を確かなものにし、採用後間もない教員
であっても大きな責任をしっかりと果たすこと
ができるよう、「教師塾」を立ち上げた。昨今
教員志願者の減少が問題となっているが、「ふ
じえだ教師塾」には、

教師を志望している

人たちが希望を抱き、

志をつらぬく支援的

機能が今後ますます

求められると考える。

なお、併せて教員養

成大学への「教師塾」

の紹介や他市町への

呼びかけを通じ、教

職への関心が高まる

よう働きかけを行う。



ふじえだ教師塾



藤のまち未来
鈴木 岳幸 議員

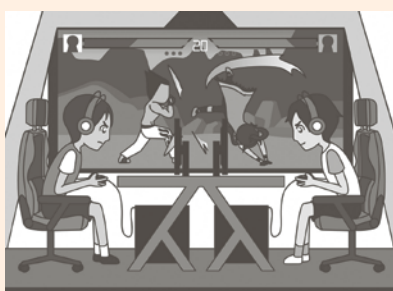


e スポーツの普及推進について

問 e スポーツはかつてはテレビゲームと言われた

もので、やり過ぎは悪影響があるとして批判さ
れたものだが、今では年収数億円にもなるプロ
選手も現れ、国体の種目にも採用されるなど、
大きく発展している。今後も市場の拡大が見込
まれているが、藤枝市で大会やイベントなどを
開催、誘致することはできないか、伺います。

答 e スポーツは世界中で競技人口、観戦人口が拡
大しており、若年層の参加や、集客力・拡散力
の高さが注目され、市場規模も急速に拡大して
おります。来年は、藤枝市のサッカーのまち1
00周年の記念の年であるが、その記念事業と
して、総合運動公園のオーロラビジョンなどを
活用したe スポーツの大会やイベントなどを誘
致して開催をしていきたい。また、国体のe ス
ポーツ種目のサッカー部門の予選大会を藤枝市
での開催を誘致
することを考え
ているが、その
後の上位大会の
北信越東海ブ
ロック大会も藤
枝市内で開催で
きるように働き
掛けていきたい。



e スポーツの市場規模は
どんどん拡大しています



藤のまち未来
増田 克彦 議員



本市における6次産業化の進展について

問 6次産業化が本市の経済に与える影響について
答 本市で開発されたミカンジュース、苺スイーツなどは藤枝セレクションに認定され、マスコミに取り上げられるなど成功モデルと認識している。6次産業化は所得の増加や雇用の創出など、地域経済の活性化に大きなインパクトを与えると考え。

問 6次産業の観点からの本市の強みは

答 本市は県内有数の有機農業の先進地であり、意欲溢れる有機農業者の存在や、有機農産物を活用した6次産業化が本市の強みである。

問 藤枝市農商工連携・6次産業化推進ネットワークの成果と進展について

答 「ネットワーク」には一八一名の会員が登録され、これまで一〇三件の商品開発があった。このうち約六割が製造・販売を継続している。さらなるネットワークの連携強化により、首都圏の販路開拓やふるさと納税返礼品へのエントリー、SNSなどを活用した情報発信により消費拡大を進める。

問 農業と観光の連携の取り組みについて

答 農業や自然に新たな価値を創造し観光に繋げるグリーン・ツーリズムに民間や団体の取組と一体となり積極的に推進している。「藤枝おんぼく」では複数のエントリーで農業体験を観光資源として人を呼び込み、好評を博している。



藤枝産緑茶を使用したクラフトビール



藤新会
大石 心平 議員



本市における地域防災について

問 避難行動要支援者登録台帳について、現状は台帳の情報開示の範囲などの表記が曖昧となっていないか？

答 見直しを行ない分かりやすいものに改善していく。

問 台帳にはデリケートな内容も記載箇所がある為、提出して頂くにあたって例えば一世帯ごとに専用の封筒を用意して封をして提出するなどの方策をとってはいかがか？

答 提案された方法も含めて個人情報に配慮した収集方法を検討する。

問 先日 の夜間訓練だけでなく普段の訓練においても避難者がいわゆる「お客さん」になってしまわない為に、避難所の開設運営は自主防災会を主とした避難者によって行なわれると言う事を市民に対し充分に周知できているか？

答 避難所開設・運営訓練について繰り返し訓練をお願ひし、避難者がより主体的に行動できるように努めていく。

問 平成24年以降「警戒警報発令型」の訓練から「突発地震発令型」の訓練に切り替わり、訓練の内容は変化しているのか？

答 変更後は発災後の訓練を中心に市と防災関係機関、地域住民が連携した倒壊家屋からの救出救助訓練・救護訓練を実施し、地域防災力の向上と防災意識の高揚を図っている。



公明党
大石 保幸 議員



認知症対策への取り組みについて

問 認知症なのかをチェックできるページを藤枝市のホームページに掲載できないか。

答 市の「認知症ネットワークガイド」という冊子には「チェックシート」を掲載しているが、独立させて今年中に市のホームページに掲載していく。

問 国では「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立した。認知症の方への対策として市での個人賠償責任保険の導入と条例制定を求めたいが市の考えを伺う。

答 保険については、安心して社会参加を継続していただくために取り組んでいく。

問 条例制定について
答 も、市民一人ひとりが支え合い、共生社会の実現に向けた内容としたものを検討していく。



市が発行している認知症ガイドブック

災害時における妊産婦への支援について

問 静岡県助産師会では自治体との災害時における妊産婦支援の協定締結を進めている。藤枝市でも協定の締結が出来ないか。

答 県助産師会とは日ごろから連携しているが、災害時及び災害に備える平時の連携を強化するため、連携協定の締結に向けて取り組んでいく。



藤新会
藪崎 正幸 議員



市内の除草計画について

問 藤枝市内の道路、河川、公園などの至る所において雑草が生い茂り、見た目においても、道路の安全面においても決して手入れが出来ていないとは思えない状況である。この問題について質問する。

答 市が管理するいわゆる官地においては、職員のパトロール等により維持管理に努めている。

問 現状を見る限り決して出来ているとは思えないか？また各町内会等に謝礼金を出してお願いしている部分においても高齢化や過疎化において町内会ではやりきれない部分が出てきている。また謝礼金の額においても妥当な金額とはかけ離れているのではないか？

答 各町内会等としてしっかり話し合いの機会を設け、お互いの意識統一を図り、市と市民でより良い解決方法を見つけていく。



河川等の利用方法について

問 近年のアウトドアブームも一年を通じて河川や公園のゴミや違法駐車問題が生じているが市はどのように対策していくのか？

答 こちらにおいても各町内会等と話し合い現状を把握した上で、対策、解決方法を考えていく。



藤のまち未来
平井 登 議員



熱中症対策で望まれる屋外労働者への支援・補助

問 熱中症リスクをもちに受け、また、冷房設備等の設置が不可能な屋外労働者（建設・土木業、農林・造園業、警備業等）を対象に、熱中症予防に効果の高い「送風ファン付作業服」等の購入補助金制度を設けていただきたいが所見を伺う。



送風ファン付作業服

答 平成28年度に施行した「従業員労働環境改善事業費補助金」に屋外労働者をはじめとした現場作業員を熱中症リスクから守るため「熱中症予防グッズ」を支援対象に加える方向で検討する。

問 その制度は法人対象と思うが、農家や個人事業者、ボランティア団体等、法人でない労働者にはどう対策されるのか伺う。

答 その対象や基準については商工会議所、商工会JAなど関連機関と協議し慎重に検討する。

問 法人・個人・ボランティア等に拘わらず、すべての現場作業員に公平に行政サービスが行き届くよう制度設計をお願いしたい。

問 炎天下で朝から晩まで作業する屋外労働者にとっては予防グッズというレベルではなく「生命維持装置」である。そういう重要な物品を支援対象に加えるとの答弁に感謝するが、いつの実現を目標に検討されるか伺う。

答 令和6年度の予算化に向けて検討する。

問 国の「熱中症予防モデル事業」交付金制度の活用を検討していただきたい。



藤新会
植田 裕明 議員



市民だれもが歌える藤枝市歌を市制施行70周年を機に

問 70周年に向けて市歌を改めてみては？

答 市歌には自然に恵まれた豊かな郷土や歴史と伝統を受け継ぎながらも、新しいものを取り入れて、未来を切り開く気概が感じられ、この郷土愛や温故知新の精神に強く共感している。この機をとらえて、市歌を幅広い層に広め、郷土愛を育み、夢や希望に満ちあふれた未来を築いていくことは、大変意義があることから、公的な行事や学校活動などを通じて、その素晴らしさを発信し、市民の皆様が我がまちへの誇りを高めるよう力を入れていく。



アフターコロナにおける病院経営と本市のがん対策について

問 今後の病院経営とがんの経済的負担は？

答 先般の国立がん研究センターが発表した適切な予防対策は、命を救うだけでなく、経済的な負担の軽減も期待でき、予防可能ながんによる経済的負担は1兆円越えという推計により、これまで本市が積極的に取り組んできた様々ながん予防策が、経済的な見地からもその有用性が裏付けされた。

今後引き続き、定期的ながん検診やがん治療と就労の両立支援など多面的に取り組んでいく。



無会派
池田 博

議員



生活道路の整備状況等と無電柱化について

生活道路の補修の現状について伺う。

答 町内会や市民の皆様からの情報提供等により、異常個所の早期発見に努め補修を実施し、昨年度は1,555件の通報があった。道路などの損傷を発見したら、その場でスマートフォンから場所や現場の写真などを簡単に通報できる「道路損傷通報システム」を導入し、より迅速な対応に努めています。

地元要望による道路整備状況と課題について伺う。

答 令和元年度において各町内会の優先順位1位のものや通学路整備など子どもの安全確保に係る157件を選定し、優先して事業着手するように計画しています。昨年度未現在、125件の事業に着手。

無電柱化の今後の展開について伺う。

答 本市では国の「ウォークアプル推進都市」に参画し、道路空間を車中心から人中心の空間へ転換する取組をしている。今後10年間の『無電柱化推進計画』の策定に着手。「藤枝駅北口周辺無電柱化事業連絡会議」を発足した。また、駅南口周辺では駅と商業施設や公共施設を結ぶ路線や歩行者通行量の多い路線、バリアフリー化が必要な路線等も無電柱化を想定しています。



議員研修会を開催しました

令和5年7月21日（金）、本市情報デジタル推進課長による、【生成AI「Chat GPT」体験研修会】を聴講しました。
Chat GPTでの文章を作成や要約などの活用事例の実演により、議員活動への活用の可能性や課題などを考える貴重な機会となりました。



議会運営委員会行政視察

令和5年7月6日 東京都東村山市

内 容 投票率向上について

選挙管理委員会との意見交換会は早急に行う必要があるとともに、今後は、市長選、市議選の都度振り返る必要があると考える。また、主権者教育の枢要となる教育委員会との意見交換会や議会タウンミーティングにおける投票率向上についての議論も重要だと感じた。

令和5年7月7日 埼玉県越谷市

内 容 新庁舎建設について

完成してみても不便と感じる点はいくつかあったようで、特にセキュリティ対策については完成後に改修したとのことであった。設計段階でいかに様々な点について模擬実験していけるか、建設中や完成後の改修費用を限りなくゼロにしていけることは重要であり、本市でも設計段階での入念なシミュレーションは必要と考える。



東村山市の視察の様子

総務委員会行政視察

令和5年7月24日 千葉県市川市

内 容 新庁舎の建設について

新庁舎になり、以前と比べ行政手続き以外で庁舎を訪れる市民が増えたとのこと。市民交流スペースで談笑する方、仕事をする方や勉強する学生等も見受けられるそうである。ワンストップサービスなどの仕組みなども実際に見ることができた。

令和5年7月25日 群馬県前橋市

内 容 新市議会庁舎の設備と機能（防災拠点機能含む）について

前橋市の新議会庁舎は行政機能と議会機能を持つものであった。多目的トイレやスロープ、十分な幅を確保した通路などが印象的であった。経年劣化や地震等によるコンクリート躯体のひび割れを抑制するプレストレストコンクリートという強度や耐久性に優れた構造材料を使用していた。



高崎市の視察の様子

令和5年7月26日 群馬県高崎市

内 容 絶メシリストについて

高齢化や後継者不足などで閉店する店が後を絶たない現状の中、地域住民に愛され続けている飲食店にスポットを当て、その魅力をインターネットやSNSを活用して、首都圏在住者や本市への来訪者、また、世界に向けて発信する市民応援型のプロモーション事業。この事業は国内外でも高い評価を受けている。

建設経済環境委員会行政視察

令和5年7月26日 兵庫県高砂市

内 容 総合治水の推進について

平成23年の台風12号で甚大な水害を被ったことをきっかけに、高砂市総合治水推進計画を策定。「ながす」河川下水道対策、校庭や公園での雨水貯留等の「ためる」流域対策、浸水ハザードマップ・氾濫予測等の情報提供などの「そなえる」減災対策を総合治水の3本柱とし、水害リスクの軽減を図るためのさまざまな対策を推進している。



高砂市の視察の様子

令和5年7月27日 広島県三原市

内 容 平成30年7月豪雨に対する対応とその後の水害対策について

平成30年7月豪雨からの復旧に向け、「土砂対策プロジェクトチーム」を設置。農林、河川、道路等、各担当課にわかれていた業務を一元化し、災害工事の優先順位の調整や、地元要望への対応などをプロジェクトチームで行い、効率的・効果的な災害復旧に努めた。

令和5年7月28日 京都府長岡京市

内 容 マイクロ水力発電について

市が保有している資源を最大限活用し、温暖化対策の推進や再生可能エネルギーの普及の取組として、民間事業者と連携し「マイクロ水力発電」を市内で2機導入。経済的なリスクを負わずに収益を得ていることのほか、2050年のゼロカーボンシティに向けて、市が積極的に取り組んでいる。

健康福祉教育委員会行政視察

令和5年7月11日 岡山県岡山市

内 容 「総合特区（高齢者活躍推進事業）」の取り組みについて

岡山市では「高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築」をコンセプトに、在宅介護に力を入れている。また、高齢者の社会参加活動「ハタラク」は、実際に介護利用者が軽作業などの「業務」を行うことによって謝礼を得ることができる仕組みで、要介護の状態であっても社会とかわりを持ち、意欲と能力を維持して就労や社会活動につなげていく有意義な取り組みである。



岡山市の視察の様子

令和5年7月12日 兵庫県小野市

内 容 「夢と希望の教育、おの検定」の取り組みについて

脳科学の視点を取り入れ、妊娠期から15歳までの16年間で重要だとして、『16か年教育』を標榜し、睡眠、食事、コミュニケーションを重視した取り組みを行っている。また、基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を目的とした、「おの検定」という独自の検定制度を創設したことで、漢字、計算、英語、体力のそれぞれの分野で個々のレベルに応じた取り組みができ、家庭学習時間の充実や学習意欲の継続につながっている。

市議会では、市民の皆様から広く意見を聴く機会として、議員と市民の皆様との意見交換会を実施しています。コロナで中止していましたが、ようやく再開することができました。議会活動の状況報告後、参加された104名の皆様から多くのご意見等をいただきました。いただいた貴重なご意見等については、議会として、一般質問や決算常任委員会等でとりあげ、誠意をもって取り組んで参ります。



そのほかのご意見等は、こちらからご覧いただけます。

質 問

高校生の交通マナーに困っている。

当日の回答

学校に伝える。市内の高校は県、私立なので市としてどうするか協議していく。交通安全対策については、議会としても行政とともに今後も引き続き取り組んでいく。



質 問

山間部の鳥獣被害の対策について

当日の回答

現状を把握し、今後の対策について検討、要望していく。

質 問

農業従事者の高齢化等により農地を手放したい人が増えている。農地を守るという事でなんらかの手だてをとって欲しい。

当日の回答

農業従事者の担い手不足、手放したい従事者の増加について把握している。重要な課題ととらえ、市とともに取り組んでいく。



質 問

中学校、小学校の通学路について裏道となっており交通量も多く危険な箇所がある

当日の回答

危険箇所については、地元と話し合いながら要望していく。地元の方からも学校へも直接伝えてほしい。



質 問

市役所の駐車場や公園など屋外が避難所になっていることについて

当日の回答

指定避難所を変更した事例もあり、市民会館や他施設の利用など市に要望していく。

その後の対応

9月定例会月議会で一般質問しました。

その他の取り組み

- ・コンポストについて
- ・課題ある子どもの入園について
- ・市内の草刈りについて
- ・サッカーミュージアムについて

9月決算常任委員会で質問しました

9月定例会月議会で一般質問しました

タウンミーティング
次の開催予定

1月20日(土)14:00～16:00

1月28日(日)14:00～16:00

瀬戸谷地区交流センター
高洲地区交流センター
稲葉地区交流センター
市民ホールおかべ

4年振り

令和5年度

議員と市民との意見交換会 (議会タウンミーティング)を開催!!

7月22日(土)14:00～ 藤枝地区交流センター【参加者14人】
広幡地区交流センター【参加者27人】
7月23日(日)14:00～ 葉梨地区交流センター【参加者54人】
大洲地区交流センター【参加者9人】

質 問

市立病院周辺道路の渋滞について対策は？

当日の回答

台数が足りていないので引き続き近隣の駐車場を借り上げていく等努力している。渋滞の要因が駐車場の不足だけと考えず、市とともにしっかり検討していく。

その後の対応

9月決算常任委員会で
質問しました。

質 問

岡出山公園、岡出山小路の話を詳しく聞きたい。

当日の回答

全長52メートル、幅10メートル、商店街から岡出山公園までを整備する計画。地域の活性化につながるよう要望していく。

その後の対応

9月定例月議会で
一般質問しました。

質 問

地域の声を聞くことについて。若者やこどもの意見を聞くというのをどう考えているか。こどもたちの声をどうやって拾うか考えてほしい。

当日の回答

市としてもこどもまん中社会に取り組んでいる。議会としても、大学生の意見を聞く機会を設けており、今後は若者やこどもも含め幅広く広聴の場を設けていく。

その後の対応

9月定例月議会で
一般質問しました。

質 問

蓮華寺池公園の駐車場対策について

当日の回答

イベント時など大型バスを遠くに駐車する等対応しているが、満車や渋滞については議会としても声を上げている。加えて、藤枝市全体の交通環境の整備も要望していく。

その後の対応

9月決算常任委員会で
質問しました。



11月市議会定例会

11月定例会は、11月20日から12月14日までの25日間で開かれる予定です。

11月20日 本会議 1日目 ※議案上程等
29日 本会議 2日目 ※一般質問
30日 本会議 3日目 ※一般質問
12月1日 本会議 4日目 ※一般質問・議案質疑等

4日 現地審査
5日 常任委員会
6日 常任委員会
14日 本会議 5日目 ※採決等



※藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。http://fujieda.gijiroku.com/g07_Nittei_Month.asp

議会を傍聴できます

議会は、どなたでも傍聴することができます。予約不要ですのでお気軽にお越しください。市役所5階の傍聴受付で傍聴券を受けとれば、傍聴できます。住所、氏名などの記入は、不要です。



議会は藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



Facebook「藤枝市議会」で議会活動情報を随時更新しています

藤枝市議会では、ホームページ、市議会だよりに加え、議会の情報発信を強化し、より多くの方に議会への関心をもっていただくために、随時投稿しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.facebook.com/fujiedashigikai/?locale=ja_JP



問い合わせ【議会事務局】 ☎643-3552

表紙の写真・イラスト等募集！ テーマ「市内のお出かけスポット」※好きな場所

市議会では、年4回（6月・8月・11月・2月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真等を募集します。

●募集する写真・イラスト等

- 写真の場合…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

●応募方法

住所・氏名（フリガナ）・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

●応募上の条件

- 写真の場合…市内で撮影されたもの。
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

●応募の締め切り

2月5日号掲載の締切⇒令和5年11月29日(水)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）
住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
電 話：054-643-3552
メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



応募イラスト・写真コーナー

テーマ
「〇〇の秋」



「学童で工作の秋」
撮影：浅野直美さん



「きくの秋」
(撮影場所：田中城下屋敷)
撮影：寺田 清さん



「紅葉の秋」
(撮影場所：滝ノ谷不動狭)
撮影：寺田 清さん

訂正とお詫び

藤枝市議会だより227号の人事案件の農業委員会委員の「村松節生」様とありましたが、正しくは「松村節生」様でした。訂正してお詫びいたします。

